

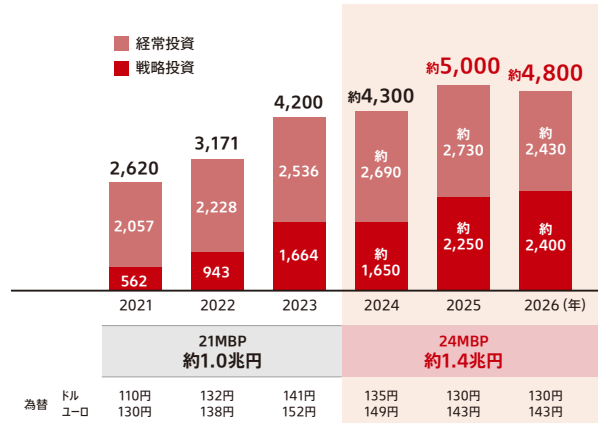
設備投資・戦略リソース・研究開発費

● 設備投資

設備投資合計
(戦略+経常) **約1.4兆円** (21MBP比約1.4倍)

プレミアムタイヤ事業(コア事業)の戦略設備投資中心に、投資内容や効果、リターンをしっかりと見極めながら、継続強化していきます。

● 設備投資：戦略+経常合計(億円)



経常投資:通常の工場設備メンテナンス・更新投資に加え、小売拠点の店舗・倉庫のリース更新や、物流拠点のリース更新あり、21MBP対比で若干の増加

● 戦略リソース

戦略リソース計

約7,800億円

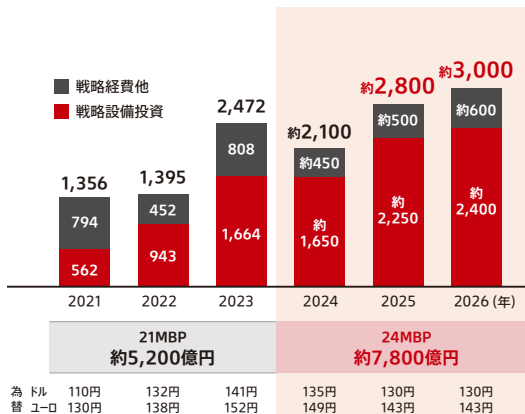
- 21MBP対比 **約1.5倍のリソース投入**：特に**プレミアムタイヤ事業へ継続投入強化**
- 2030年 長期戦略アスピレーション (約1.2兆円) 対比では、**7割弱のリソースに厳選**

■ 戦略リソース - 事業ポートフォリオ別

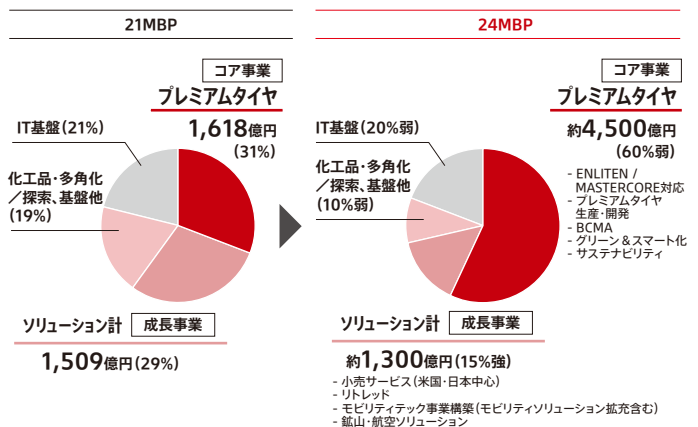
戦略投資と戦略経費を含めた戦略リソースは、特にリターン確度が高いプレミアムタイヤ事業へのリソース配分を21MBPの約3割から6割弱へ拡大・強化していきます。加えてソリュー

ション事業についても、21MBPで「やること」と見極めた事業—小売サービス、リトレッド、鉱山・航空、モビリティテック事業構築に関連したリソースを継続強化していきます。実際のリソース投入に際しては、効果・リターンをしっかりと見極めながら実行判断をしていきます。

● 戦略リソース金額(億円)



● 戦略リソースアロケーション



財務戦略

■戦略リソース – エリア別

ブリヂストンの収益を支える米州に継続して4割投入することを前提に、収益性が高い鉱山・航空機タイヤへの投入を、断トツ商品Bridgestone MASTERCOREを開発・生産する日本中心に強化して、構成比を21MBPの2%から、24MBPでは10%弱へ、約4倍に拡大していきます。一方、再編・再構築を実行する欧州へのリソース投入は、構成比で21MBP対比半分に限定します。

■戦略リソース – 投資回収開始時期別

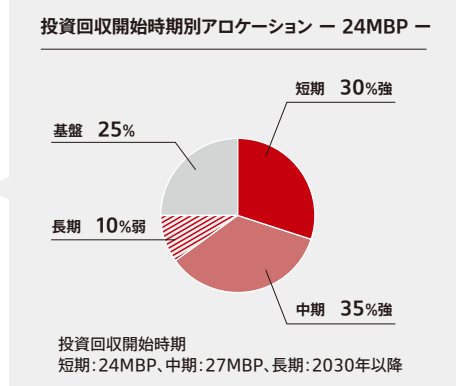
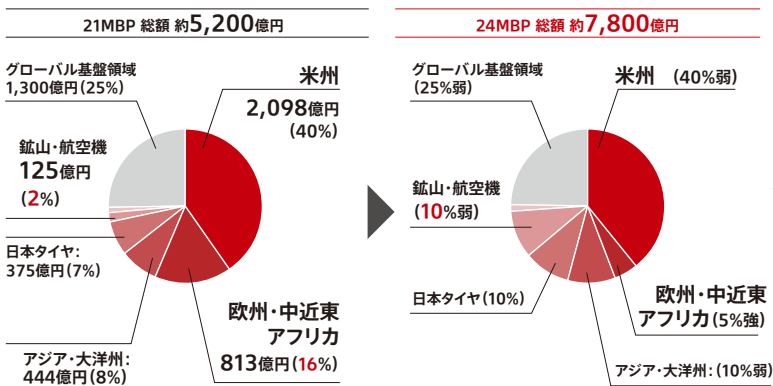
投資回収開始時期が短期・中期のプロジェクトに約7割を投入し、バランスを担保しながら将来への布石を打ちます。加えて、リターンの確実性もしっかりと見極めていきます。

短期：プレミアムタイヤ・小売・リトレッド

中長期：モビリティテック・探索事業中心

※投資回収開始時期：短期：24MBP、中期：27MBP、長期：2030年以降

●戦略リソース金額(億円)



●研究開発費

研究開発費 4,120億円

- 製品・生産技術開発における研究開発費：約4,000億円 (売上収益対比 3%レベルで継続強化)
- ソリューション (米国小売・モビリティテック事業構築)：約120億円

「新たなプレミアム」ENLITEN／Bridgestone MASTERCORE 向け技術開発、サステナブルなグローバルモータースポーツタイヤ開発、グリーン&スマート化などの生産技術開発を中心に、プレミアムタイヤ事業向け研究開発を継続強化していきます。加えて、ソリューション事業向けにも、リアル×デジタルによる米国小売新商態開発やモビリティテック事業構築へ向けた研究開発を計画するなど、グローバルで研究開発活動を強化していきます。

●R&Dリソース合計(億円)：経費

